

インベスコ 世界厳選株式オープン【愛称：世界のベスト】

<為替ヘッジあり> (毎月決算型) / <為替ヘッジなし> (毎月決算型)
 <為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)
 追加型投信 / 内外 / 株式

特別レポート

5,000億円達成特別号

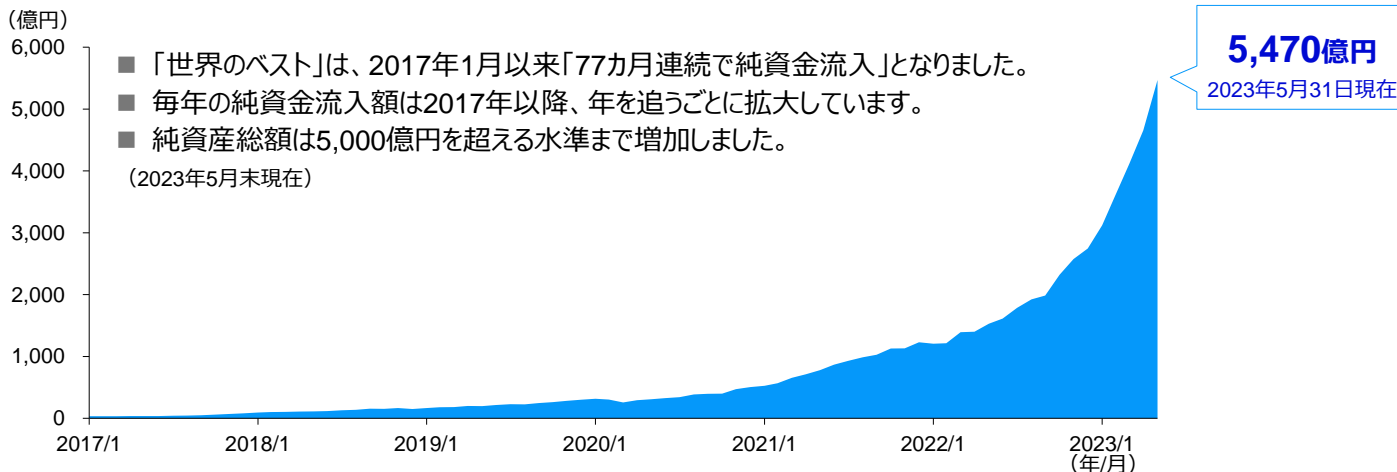


当レポートの構成

- 運用責任者からのメッセージ：リスク分析を一段と重視した厳選投資を実施 ...P.2
- 「世界のベスト」の運用実績：足元、相対的に好調なパフォーマンス ...P.2
- Q&A 足元のパフォーマンスが相対的に好調です。この背景を教えてください。 ...P.3、4
- Q&A 確信度の高い銘柄を厳選するために、どのような視点で選別しているのか教えてください。 ...P.5
- Q&A 今後の投資方針や、最近着目している国・地域や企業などについて教えてください。 ...P.6

おかげさまで、「77カ月連続で純資金流入*」「純資産総額5,000億円」を達成いたしました。

「世界のベスト」の純資産総額の推移



* 純資金流入は、ファンドの設定額から解約額を差し引いたもの。77カ月連続は、2017年1月から2023年5月まで（月次データ）。

出所：インベスコ グラフ期間：2017年1月末～2023年5月末、月次データ

上記データは、<為替ヘッジあり>（毎月決算型）、<為替ヘッジなし>（毎月決算型）、<為替ヘッジあり>（年1回決算型）、<為替ヘッジなし>（年1回決算型）の合計です。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

当資料では、「インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジあり>（毎月決算型）/ <為替ヘッジなし>（毎月決算型）」および「インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジあり>（年1回決算型）/ <為替ヘッジなし>（年1回決算型）」を総称して「当ファンド」という場合があります。また、決算頻度に応じてそれぞれ「毎月決算型」、「年1回決算型」、為替ヘッジの有無に応じてそれぞれ「為替ヘッジあり」、「為替ヘッジなし」の呼称を使う場合があります。当ファンドはインベスコが運用を行います。インベスコは、インベスコ・リミテッド並びにインベスコ・リミテッド子会社および関連会社からなる企業グループで、グローバルな運用力を提供している独立系資産運用会社です。

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

<為替ヘッジあり> (毎月決算型) / <為替ヘッジなし> (毎月決算型)

<為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)

運用責任者からのメッセージ ～リスク分析を一段と重視した厳選投資を実施～

変化の激しい投資環境下、個別銘柄およびポートフォリオ全体のリスク分析を一段と重視した厳選投資を実施

偏りのないバランスのとれたポートフォリオ構築により、様々な市場環境に対応

「世界のベスト」をご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。2020年に当ファンドの運用責任者に就任し、長期の実績を有する当運用戦略を日本の皆さまにご提供できますことを大変光栄に思っております。

コロナショック後の過去3年、世界の株式市場は、サプライ・チェーン問題、ロシア・ウクライナ問題、インフレ率の大幅上昇、超低金利環境から大幅利上げへの転換等、様々な環境変化に晒されてきました。

そうした変化の激しい投資環境において、運用チームでは一貫した投資哲学に基づき、個別銘柄の厳選と確信度の検証を徹底的に行い、環境変化に対応した個別銘柄およびポートフォリオ全体のリスク分析を一段と重視した運用を行ってきました。

運用チームでは、短期的な市場トレンドやコンセンサスに左右されない長期的視点から銘柄選択を行い、特定の業種や投資テーマなどに偏りのないバランスのとれたポートフォリオを構築することで、どのような投資環境においても、より高いパフォーマンスが発揮できる運用を目指しています。



スティーブン・アネス
運用責任者 ポートフォリオ・マネジャー
兼グローバル株式チーム・ヘッド

インベスコ在籍年数 21年
業界経験年数 21年

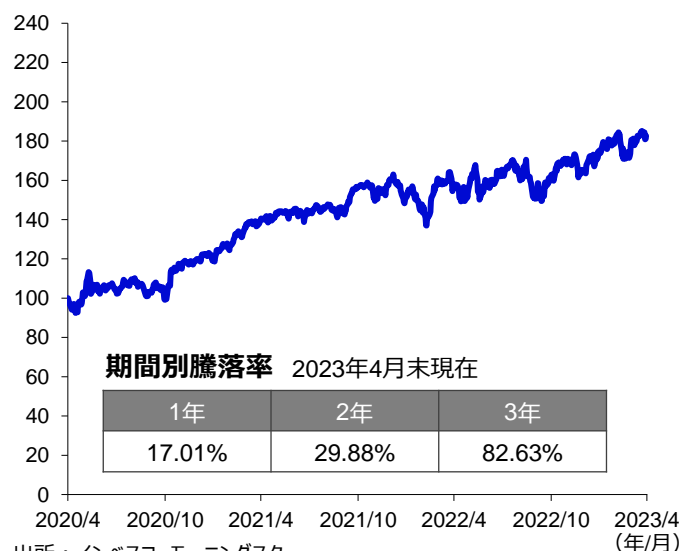
「世界のベスト」の運用実績 ～足元、相対的に好調なパフォーマンス～

<為替ヘッジなし> (毎月決算型) のパフォーマンス

過去3年間のパフォーマンス推移

期間：2020年4月末～2023年4月末

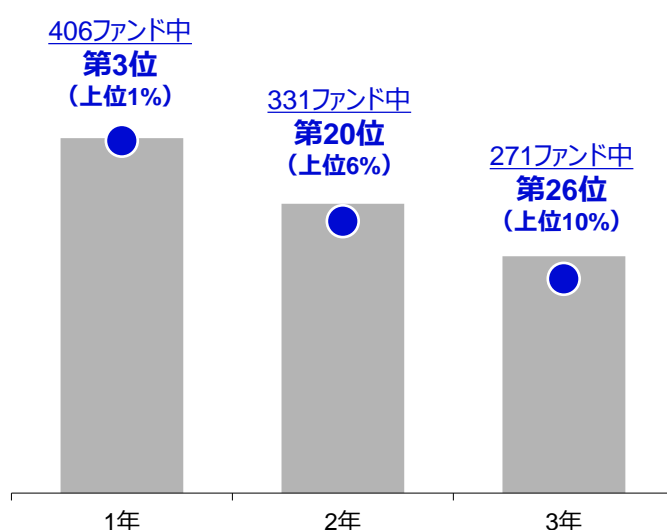
2020年4月末を100として指数化



同カテゴリー・ファンドとのパフォーマンス比較*

モーニングスターカテゴリー・ランキング 2023年4月末現在

● 世界のベスト<為替ヘッジなし> (毎月決算型)



出所：インベスコ、モーニングスター

* 分析ツールのモーニングスター・ダイレクトが分類する「日本 オープン・エンド - 外国株式・世界」カテゴリー内の為替ヘッジなしのファンドを対象として、2023年5月25日現在において確認可能な情報で比較したものです。知的財産権はモーニングスターに帰属します。「世界のベスト」4ファンドの設定来の運用実績は7ページをご参照ください。グラフデータおよび騰落率は、課税前分配金再投資基準価額（信託報酬控除後）を使用しています。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。運用責任者の在籍年数および経験年数は2023年3月末現在。上記は、2023年5月末時点における運用チームの見解を示したものであり、将来予告なく変更されることがあります。

©2023 Morningstar, Inc. All rights reserved. The information contained herein: (1) is proprietary to Morningstar and/or its content providers; (2) may not be copied or distributed; and (3) is not warranted to be accurate, complete, or timely. Neither Morningstar nor its content providers are responsible for any damages or losses arising from any use of this information. Past performance is no guarantee of future results.

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

<為替ヘッジあり> (毎月決算型) / <為替ヘッジなし> (毎月決算型)

<為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)

Q&A：運用責任者スティーブンがお答えします



2ページの運用実績を見ると、足元のパフォーマンスが相対的に好調です。この背景を教えてください。



2020年に運用チームが現体制となって以来、投資環境が大きく変動する中、個別銘柄リスクに加えて、ポートフォリオ構築時に国、セクター、通貨等によるリスクの分析を一段と重視した運用を行ってきたことが、パフォーマンス向上につながったと考えています。

また、コロナショックやその後のボラティリティ（変動性）が高まる市場環境下、株価下落の局面を捉えて「成長」、「配当」の観点から魅力的であると評価していた企業に「割安」な株価水準で投資できたことも、好調なパフォーマンスの要因と考えています。

運用チームでは、短期のトレンドや市場のコンセンサスに左右されない長期的視点での投資を厳格に行っています。この取り組みの例として、株価が「割安」となったタイミングを捉えて組み入れを行った投資事例を2つご紹介いたします。

エヌビディア（米国／情報技術）

企業概要

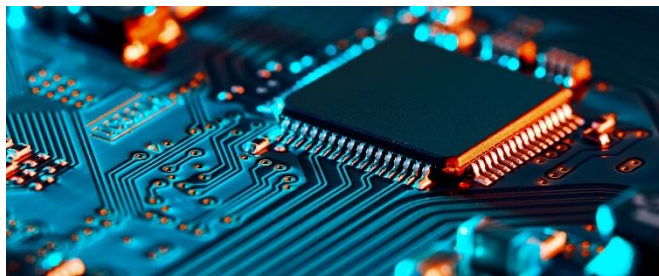
3次元（3D）グラフィックス半導体と関連ソフトウェアの設計・開発・販売を手掛ける。

組入開始時期

2022年5月

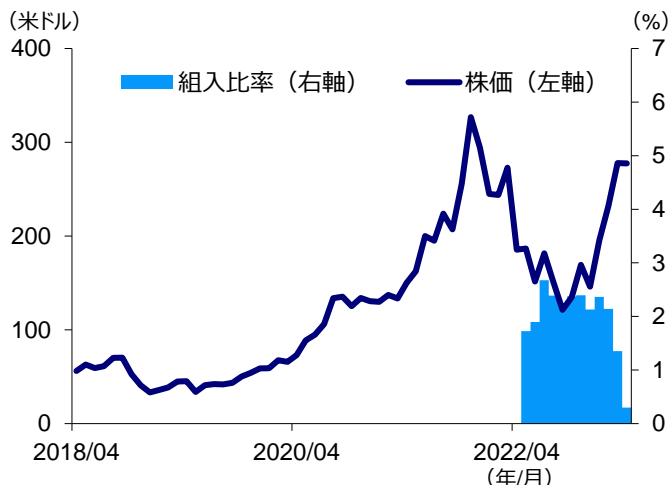
同社への評価と投資行動

- 運用チームでは従来より、長期的な実績を持ち今後も高い成長が期待できる優良企業として、同社へ前向きな評価をしていたものの、バリュエーション（株価水準）の高さを考慮し、投資タイミングを慎重に検討していました。
- 2022年に入り、長期金利の大幅上昇に伴うテクノロジー株の下落、過剰在庫への懸念、中国の成長鈍化、暗号通貨の下落等の影響を受け、同社の株価は低迷。
- 株価は大きく下落したものの、同社はAI（人工知能）のハードウェアやソフトウェア市場でのグローバルリーダーとして強固なポジションを確立しており、今後、従来のゲーム事業だけではなく、AI市場での成長が期待できる、などの点から、長期的な成長力は損なわれていないと判断し、割安感が高まったタイミングでの新規組入を実施しました。
- 2023年に入り、株価は大きく上昇。同社の成長性への評価は変わらないものの、株価上昇により利益確定のため組入比率を徐々に引き下げました。



株価と組入比率の推移

期間：2018年4月末～2023年4月末（組入比率は2022年5月末から）
月次データ



出所：インベスコ、ブルームバーグ 国・地域は、発行体の国籍（所在地）などで区分しています。業種は、ベンチマークで採用している分類に準じています。当ファンドは、ファミリー・ファンド方式により運用を行っており、マザーファンドのポートフォリオの状況を記載しています。組入比率は対純資産比率です。上記銘柄への投資を推奨・勧誘するものではなく、当ファンドにおける将来の組み入れまたは売却を示唆・保証するものではありません。上記は2023年5月末時点および過去における運用チームの見解を示したものであり、将来予告なく変更されることがあります。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。写真はイメージです。

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

<為替ヘッジあり> (毎月決算型) / <為替ヘッジなし> (毎月決算型)

<為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)

コカ・コーラ (米国 / 生活必需品)

企業概要

コカ・コーラをはじめとする清涼飲料水を製造販売する世界的な清涼飲料メーカー。

米インターブランド社による世界ブランド価値ランキング*で常に上位に入るブランド力を誇る。

組入開始時期

2020年7月

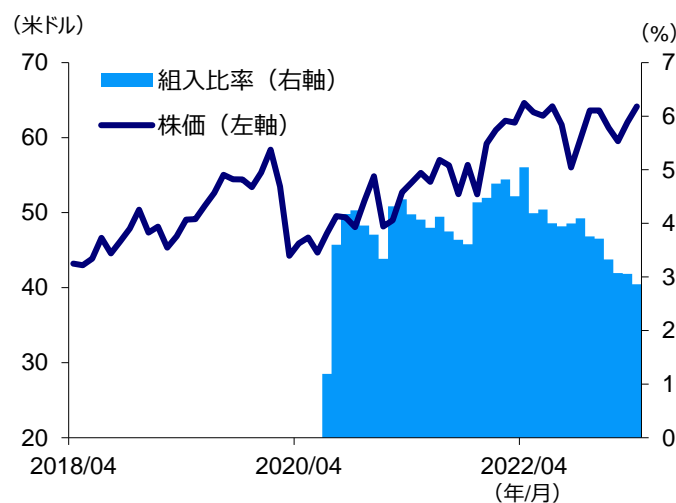


同社への評価と投資行動

- 世界の中間所得層増加による消費拡大の恩恵が期待できることや、潤沢なキャッシュフローを背景に過去40年以上にわたり配当を継続（2022年末現在）している点などを評価していたものの、バリュエーションの高さを考慮し、投資タイミングを慎重に検討していました。
- 2020年、新型コロナウイルス感染対策による行動制限の影響から、外食やイベント等での売上が多い同社の業績悪化への懸念が広がり、株価は低迷。
- 株価は低迷しているものの、①同社の圧倒的なブランド力と価格決定力から、ロックダウンや行動制限の中でも、レストランなど外食やイベントでの消費などから、自宅を中心とした消費の移行に対応できる、②新経営陣の下、事業は長期的な改善の道を歩み始めており、より利益率の高いビジネスの拡大が期待できる、などの観点から株価の割高感が薄れたタイミングでの新規組入を実施しました。
- 2022年後半からは、同社への前向きな見通しを維持しているものの、十分な利益を獲得したと判断し、より魅力的な投資機会に資金を移すため、徐々に組み入れを引き下げました。

株価と組入比率の推移

期間：2018年4月末～2023年4月末（組入比率は2020年7月末から月次データ



* 2000年～2022年の評価。世界最大級のブランディング専門会社インターブランドによるグローバルのブランド価値評価ランキング。

出所：インベスコ、ブルームバーグ、インターブランド 国・地域は、発行体の国籍（所在地）などで区分しています。業種は、ベンチマークで採用している分類に準じています。当ファンドは、ファミリー・ファンド方式により運用を行っており、マザーファンドのポートフォリオの状況を記載しています。組入比率は対純資産比率です。上記銘柄への投資を推奨・勧誘するものではなく、当ファンドにおける将来の組み入れまたは売却を示唆・保証するものではありません。上記は2023年5月末時点および過去における運用チームの見解を示したものであり、将来予告なく変更されることがあります。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。写真はイメージです。

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

<為替ヘッジあり> (毎月決算型) / <為替ヘッジなし> (毎月決算型)

<為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)

Q&A：運用責任者スティーブンがお答えします



確信度の高い銘柄を厳選するために、どのような視点で選別をしているのか教えてください。



「世界のベスト」は特定の業種や投資テーマに限定して投資を行うファンドではありません。幅広い国・地域、業種の中から、長期的視点で魅力的な銘柄を厳選して約40～50銘柄に絞り込み、偏りのないバランスのとれたポートフォリオを構築します。

より確信度の高い銘柄だけを厳選し、特定の業種などに偏らないように選別している運用チームの視点を実際の投資事例と共にご紹介します。

マイクロソフト (米国／情報技術)

企業概要

世界的な大手ソフトメーカー。Windows、Officeなどの主力製品を有し、クラウド・プラットフォームも手掛ける。

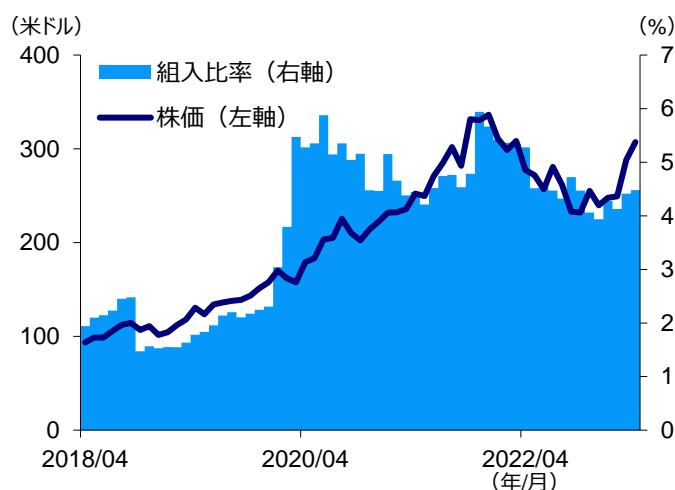
同社への評価と投資行動

- 同社のビジネスモデルは「テクノロジー」企業というよりも、人々の生活に欠かせない製品・サービスを提供するという意味では「生活必需品」の企業に近いと考えています。
- WindowsやOutlookは、「生活必需品」の中でも、例えば歯磨き粉やミネラルウォーター、お菓子などと比べて、他の製品に置き換えることは難しいと考えられる点が同社の競争力の高さにつながっています。
- テクノロジー企業の中では、アップルも非常に高い競争力を持つ企業であり「生活必需品」の企業に近い側面があると考えています。また、マイクロソフト、アップル共に今後高成長を見込めるAI（人工知能）市場の恩恵を享受できる企業であると考えています。
- 特にマイクロソフトに対して運用チームでは、ビジネスシーンにおけるソフトウェアでの強固なポジションを確立していることに加えて、Word、PowerPoint、Outlookなどのすべての製品へのAI導入を進める方針を発表するなど、積極的な事業展開を評価しています。AI市場拡大による同社の成長性への確信度が高いことから、情報技術セクターの中では、アップルよりマイクロソフトを現時点で選好しています。
- このように運用チームは、多角的な独自の視点で、より確信度の高い銘柄を選別し、特定の業種などに偏りのないバランスのとれたポートフォリオ構築に努めています。



株価と組入比率の推移

期間：2018年4月末～2023年4月末、月次データ



出所：インベスコ、ブルームバーグ 国・地域は、発行体の国籍（所在地）などで区分しています。業種は、ベンチマークで採用している分類に準じています。当ファンドは、ファミリー・ファンド方式により運用を行っており、マザーファンドのポートフォリオの状況を記載しています。組入比率は対純資産比率です。上記銘柄への投資を推奨・勧誘するものではなく、当ファンドにおける将来の組み入れまたは売却を示唆・保証するものではありません。上記は2023年5月末時点における運用チームの見解を示したものであり、将来予告なく変更されることがあります。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。写真はイメージです。

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

<為替ヘッジあり> (毎月決算型) / <為替ヘッジなし> (毎月決算型)

<為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)

Q&A：運用責任者スティーブンがお答えします



今後の投資方針や、最近着目している国・地域や企業などについて教えてください。



個別銘柄選択の重要性がより高まる環境下、引き続き「成長」「配当」「割安」の観点から厳選投資

景気の動向に左右されにくく、持続的な成長が期待できる企業を選別する中で、独自の成長ストーリーを有する日本企業にも着目

今後、世界株式市場は、インフレ見通しの変動、景気減速リスク等からボラティリティが高くなることが想定されます。また、市場全体で見たPER（株価収益率）などの株価バリュエーションは、長期での過去平均に回帰しつつあり、株価に割安感が見られないことから、より個別銘柄選択の重要性が高まると考えています。こうした不透明感の高い環境下では、配当収益による着実なリターンの獲得の重要性も高まると考えています。

当ファンドでは、引き続き「成長」、「配当」、「割安」の3つの観点に着目して、世界のベストと考える企業に厳選投資を行います。足元では、特に高いブランド力、市場における強固なポジション等による高い競争優位性を有し、景気動向に左右されにくい安定的な成長が期待できる企業に着目しています。昨年来の世界の中央銀行による政策金利の引き上げ、個人貯蓄の減少、信用の伸びの低下などが、時間差で今後の経済成長に影響を与える可能性があると考えています。具体的には、ディスカウント・ストア、飲料、日用品関連企業などに着目しています。

ポートフォリオの国・地域別では、米国が約4割を占める一方、「配当」、「割安」の観点から魅力度の高い欧州企業も約4割の組み入れを行っています。日本については、配当や自社株買い等を通じた株主還元を強化する企業が増加しており、ROE（自己資本利益率）も改善してきていると考えています。魅力的な独自の成長ストーリーを有する企業が多数見られる他、日本は欧米などとは異なる独自のマクロ経済サイクルで動いていることから、ポートフォリオにおける分散投資の観点としても着目しています。

日本企業の投資例：アサヒグループホールディングス（生活必需品）

企業概要

ビールを中心とした酒類、飲料、食品の多様なブランド（スーパードライ、カルピス、ウィルキンソンなど）を日本、欧州、オセアニア、東南アジアなど世界各地で展開する。

投資の着目点

- 経済活動の再開や観光客増加を受けて、国内消費拡大が見込まれることに加え、2023年10月に実施される国内の酒税改正では、「第三のビール」や「新ジャンル」*の税率が引き上げられる一方、アサヒのプレミアムビール等の税率は下がることから、同社への恩恵が期待できるとみています。
- また、同社のブランド力と多様な商品ラインナップから、ビール消費量が多く、ブランドビール志向が高い欧州市場の売上増加による業績への寄与も見込まれると考えます。
- 「配当」と「割安」の観点からも評価しています。（配当利回り：2.1%、予想PER：14.2倍、いずれも2023年5月末現在）

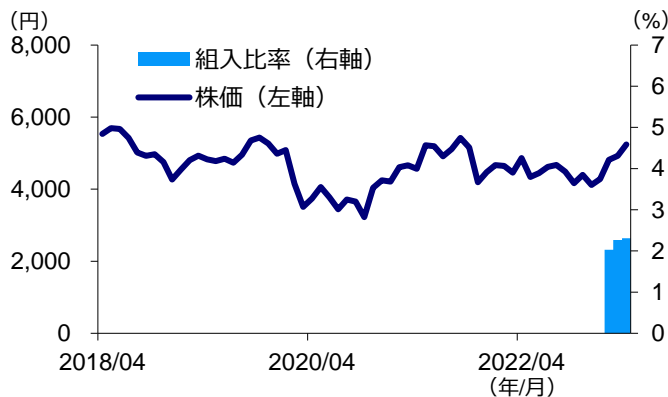
* 麦芽を使用していない、もしくは麦由来の原料を使用している酒類。一般に「第三のビール」や「新ジャンル」と呼ばれる。

出所：インベスコ、ブルームバーグ、財務省 国・地域は、発行体の国籍（所在地）などで区分しています。業種は、ベンチマークで採用している分類に準じています。当ファンドは、ファミリー・ファンド方式により運用を行っており、マザーファンドのポートフォリオの状況を記載しています。組入比率は対純資産比率です。予想PERは来年度の予想1株当たり利益（ブルームバーグ集計のコンセンサス予想）に基づく値を使用。上記銘柄への投資を推奨・勧誘するものではなく、当ファンドにおける将来の組み入れまたは売却を示唆・保証するものではありません。上記は2023年5月末時点における運用チームの見解を示したものであり、将来予告なく変更されることがあります。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。写真はイメージです。



株価と組入比率の推移

期間：2018年4月末～2023年4月末（組入比率は2023年2月末から）
月次データ

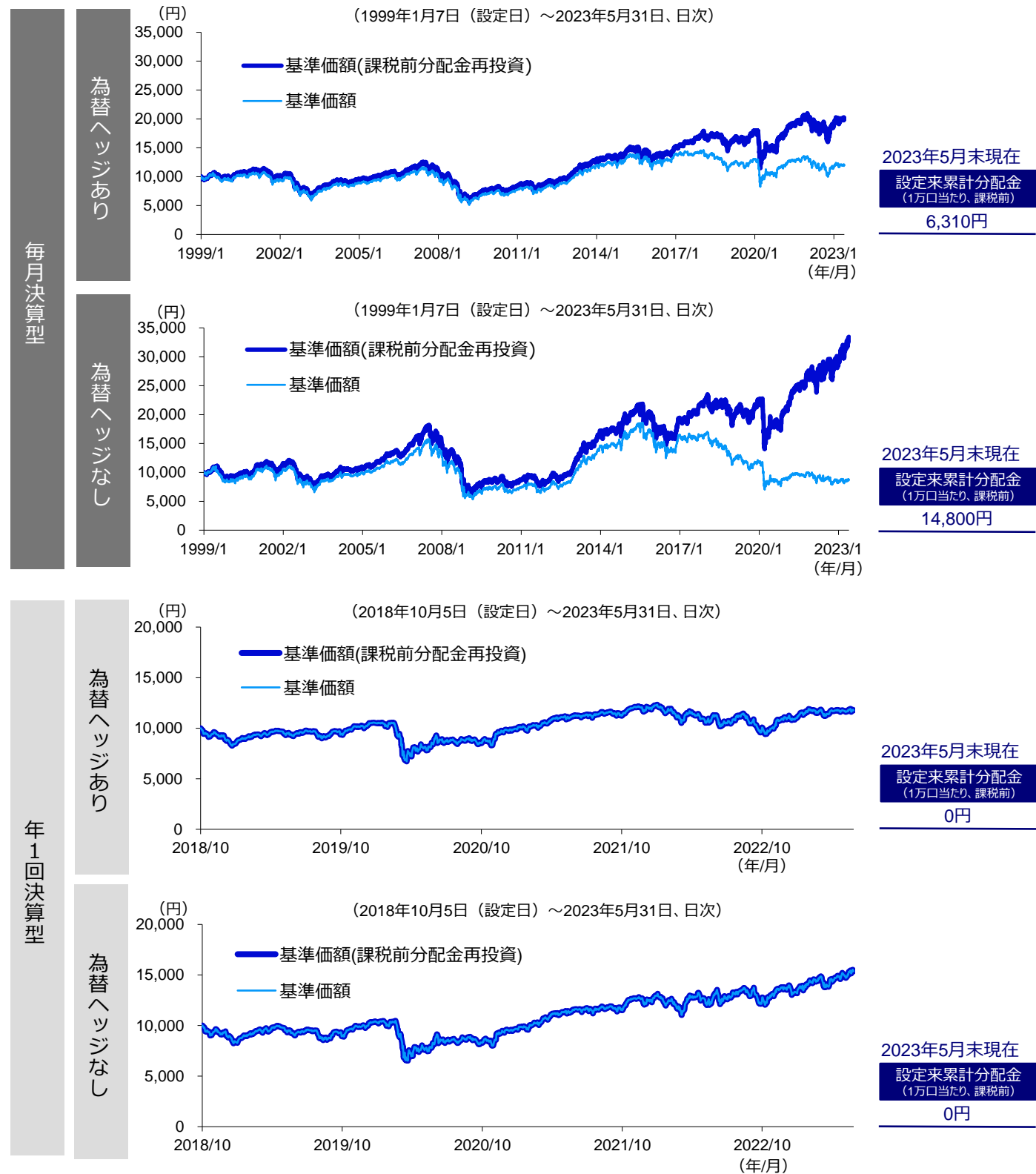


インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

<為替ヘッジあり> (毎月決算型) / <為替ヘッジなし> (毎月決算型)

<為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)

当ファンドの基準価額の推移



出所：インベスコ

基準価額は、信託報酬控除後のものです。分配方針についての詳細は、後述のファンドの特色をご参照ください。

上記は過去のデータであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

<為替ヘッジあり>（毎月決算型） / <為替ヘッジなし>（毎月決算型）

<為替ヘッジあり>（年1回決算型） / <為替ヘッジなし>（年1回決算型）

「世界のベスト」のポイント

「株式投資の王道」にこだわって世界のベストに厳選投資

日本を含む世界各国（エマージング国を除く）の株式の中から、独自の視点で厳選した世界のベストと考える銘柄に投資を行います。「成長」+「配当」+「割安」の3つの観点に着目して投資を行うことを、当ファンドでは「株式投資の王道」と考えています。



「毎月決算型で20年超」の実績を誇る世界株式ファンド

1999年1月の設定来、様々な市場環境の変化を乗り越え、日本において20年超の運用実績を有します。

※ 世界のベスト（毎月決算型）は、2016年9月に毎月決算型に変更し、2017年1月より毎月分配を行っています。また、2018年10月に年1回決算型を設定しました。販売会社によっては一部のファンドのみの取扱いとなる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

外部機関から高い評価を得る運用力



【ファンド名】インベスコ 世界厳選株式オープン <為替ヘッジなし>（毎月決算型）
愛称：世界のベスト

【部門】 投資信託20年 外国株式バリュー部門

【賞名】 優秀ファンド賞

評価基準日：2023年3月31日

「R & I ファンド大賞」は、R & I が信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきR & I が保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR & I に帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

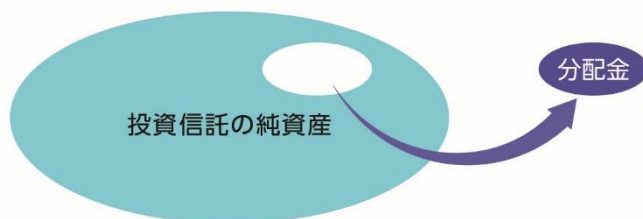
<為替ヘッジあり> (毎月決算型) / <為替ヘッジなし> (毎月決算型)

<為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

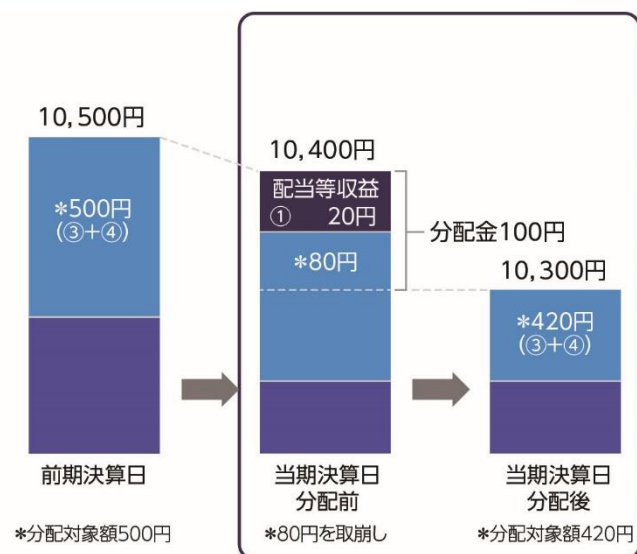
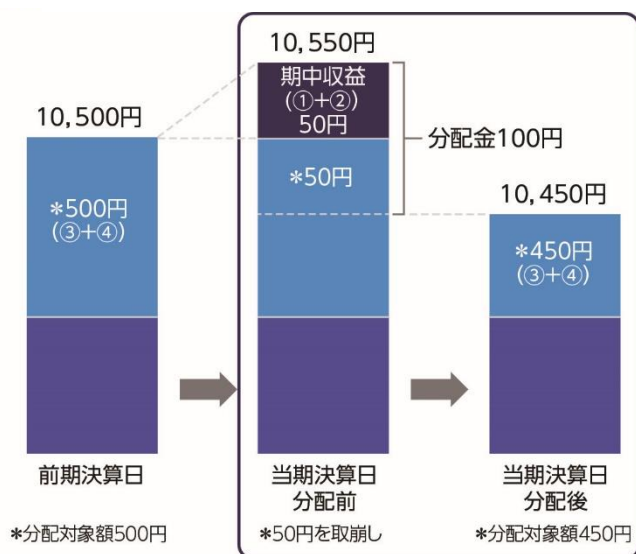


- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

■ 前期決算日から基準価額が上昇した場合

■ 前期決算日から基準価額が下落した場合



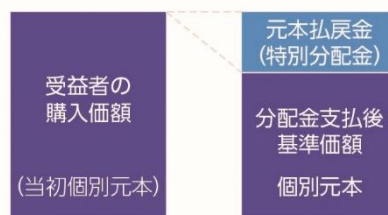
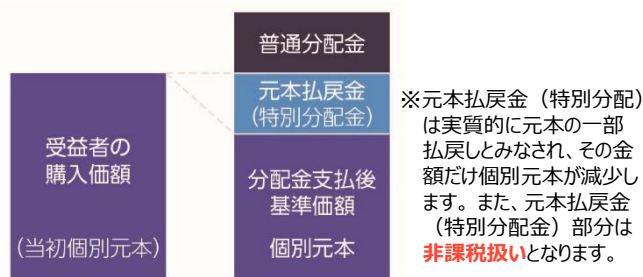
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意下さい。

- 受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。

■ 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

■ 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本（受益者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご参照下さい。

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

<為替ヘッジあり> (毎月決算型) / <為替ヘッジなし> (毎月決算型)

<為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)

ファンドの特色

- 主としてマザーファンド※1 受益証券への投資を通じて、日本を含む世界各国（エマージング国を除く）の株式の中から、独自のバリュー・アプローチによりグローバル比較で見た割安銘柄を厳選し投資します。
- 銘柄選択にあたっては、独自の財務分析、経営力、ビジネス評価等ファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価等に基づくボトムアップ・アプローチにより行います。
- 為替変動リスクについて、対応の異なる2つのファンドがあります。
 - <為替ヘッジあり> では、実質外貨建資産について、原則として、対円での為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。
 - <為替ヘッジなし> では、実質外貨建資産について、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。
- 毎月決算型は、原則として、毎月23日（同日が休業日の場合は翌営業日）の決算日に分配を行います。分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。
- <為替ヘッジあり> はMSCIワールド・インデックス（円ヘッジ指数）※2、<為替ヘッジなし> はMSCIワールド・インデックス（円換算指数）※2をベンチマーク※3とします。
- インベスコ・アセット・マネジメント・リミテッド（英国、オックスフォードシャー）に、マザーファンドの運用指図に関する権限を委託します。

※1 ファンドが投資対象とするマザーファンドは、「インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド」です。

※2 MSCIワールド・インデックス（円ヘッジ指数）とは、MSCI Inc.が算出する基準日のMSCIワールド・インデックス（円ヘッジ指数）の数値です。MSCIワールド・インデックス（円換算指数）とは、MSCI Inc.が算出する基準日前営業日のMSCIワールド・インデックス（米ドル指数）の数値を、委託会社が基準日当日の米ドル為替レート（対顧客電信売相場）で独自に円換算したものです。MSCIワールド・インデックス（円ヘッジ指数）およびMSCIワールド・インデックス（米ドル指数）は、MSCI Inc.が算出する株式インデックス（指数）の一つです。MSCIインデックスは、MSCI Inc.の知的財産であり、MSCIはMSCI Inc.のサービスマークです。この情報はMSCI Inc.の営業秘密であり、またその著作権はMSCI Inc.に帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。また、ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。MSCIワールド・インデックスの構成国や構成銘柄等は、適宜見直しが行われます。したがって、ファンドの投資対象国および投資対象銘柄は事前の予告なく変更されることがあります。

※3 ベンチマークとは、ファンドのパフォーマンス評価やポートフォリオのリスク管理を行う際の基準となる指標のことです。ファンドは、中長期的にベンチマークを上回る投資成果を得ることを目的としていますが、ベンチマークを上回る投資成果をあげることを保証するものではありません。

当ファンドはファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、複数のファンドを合同運用する仕組みで、受益者から投資された資金をまとめてペーパーファンドとし、その資金の全部または一部をマザーファンドに投資して実質的な運用を行う仕組みです。なお、ファンドは投資状況により、マザーファンドのほか株式等に直接投資する場合や、マザーファンドと同様の運用を行う場合があります。

ファンドの投資リスク

ファンドは預貯金とは異なり、投資元本は保証されているものではないため、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて受益者に帰属します。

基準価額の変動要因

ファンドは実質的に国内外の株式など値動きのある有価証券等に投資しますので、以下のような要因により基準価額が変動し、損失を被ることがあります。

価格変動リスク

<株式> 株価の下落は、基準価額の下落要因です。

株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績や財務状況、市場の需給などを反映し、下落することがあります。

信用リスク

発行体や取引先の債務不履行等の発生は、基準価額の下落要因です。

ファンドが投資する有価証券の発行体が債務不履行や倒産に陥った場合、または懸念される場合、当該有価証券の価格が大きく下落したり、投資資金を回収できなくなることがあります。また、投資する金融商品の取引先に債務不履行等が発生した場合に、損失が生じることがあります。

カントリー・リスク

投資対象国・地域の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です。

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の急激な変化や新たな取引規制が導入される場合などには、ファンドが投資する有価証券等の価格が下落したり、新たな投資や投資資金の回収ができなくなる可能性があります。

為替変動リスク

<為替ヘッジあり> 為替の変動（円高）が基準価額に与える影響は限定的です。

為替ヘッジ（原則としてフルヘッジ）を行い為替変動リスクの低減に努めますが、為替変動の影響を完全に排除できるとは限りません。また、円金利が為替ヘッジを行う通貨の金利より低い場合、当該通貨と円の金利差相当分のヘッジコストがかかります。

<為替ヘッジなし> 為替の変動（円高）は、基準価額の下落要因です。

為替ヘッジを行わないため為替変動の影響を受けることになり、円高方向に変動した場合には外貨建資産の円での資産価値が下落します。

その他の留意点

ファンド固有の留意点

ベンチマークは、今後、他の指数へ変更されることがあります。

投資信託に関する留意点

■ ファンドの購入に関しては、クーリングオフ（金融商品取引法第37条の6の規定）制度の適用はありません。

■ ファンドにおいて短期間に相当金額の換金資金の手当てを行う場合や市場環境の急激な変化等が生じた場合は、当初期待された価格や数量で有価証券等を売却できないことや取引に時間を要することがあるため、基準価額に影響を及ぼす可能性があります。また、これらの要因等により有価証券等の売却・換金が困難となった場合や、資金の受け渡しに関する障害が発生した場合は、ファンドの換金のお申し込みの受付中止（既にお申し込みを受け付けた場合を含みます。）や換金資金のお支払いの遅延となる可能性があります。

■ マザーファンド受益証券に投資する他のペーパーファンドの追加設定・解約等に伴う資金変動などが生じ、マザーファンドにおいて組入る有価証券等の売買が行われた場合などには、組入る有価証券等の価格の変化や売買手数料などの負担がマザーファンドの基準価額に影響を及ぼすことがあります。

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

<為替ヘッジあり> (毎月決算型) / <為替ヘッジなし> (毎月決算型)

<為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)

お申し込みメモ

購入単位	お申し込みの販売会社にお問い合わせください。 * 分配金の受け取り方法により、「自動けいぞく投資コース」と「一般コース」の2コースがあります。
購入価額	購入の申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	お申し込みの販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金の申込受付日の翌営業日の基準価額から、信託財産留保額を控除した価額
換金代金	原則として換金の申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として毎営業日の午後3時まで（販売会社所定の事務手続きが完了したもの）
換金制限	投資信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込には一定の制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取り消し	取引所などにおける取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申し込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた購入・換金のお申し込みの受け付けを取り消すことがあります。
信託期間	<ul style="list-style-type: none"> ■ 毎月決算型：無期限（設定日：1999年1月7日） ■ 年1回決算型：無期限（設定日：2018年10月5日）
繰上償還	<ul style="list-style-type: none"> ■ 毎月決算型：信託契約の一部解約により、<為替ヘッジあり> および <為替ヘッジなし> の受益権の総口数の合計が40億口を下回ることとなった場合などは、信託期間の途中で償還することがあります。 ■ 年1回決算型：信託契約の一部解約により、<為替ヘッジあり> および <為替ヘッジなし> の受益権の総口数の合計が40億口を下回ることとなった場合などは、信託期間の途中で償還することがあります。
決算日	<ul style="list-style-type: none"> ■ 毎月決算型：毎月23日（ただし、同日が休業日の場合は翌営業日） ■ 年1回決算型：毎年12月23日（ただし、同日が休業日の場合は翌営業日）
収益分配	<ul style="list-style-type: none"> ■ 毎月決算型：毎月の決算日に分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ■ 年1回決算型：年1回の決算日に分配方針に基づいて収益の分配を行います。 <p>* 自動けいぞく投資コースでお申し込みの場合は、分配金は税引後無手数料で再投資されます。</p>
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。配当控除は適用されません。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入の申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が定める 3.30%（税抜3.00%）以内 の率を乗じて得た額。
信託財産留保額	換金の申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.30% の率を乗じて得た額

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	日々の投資信託財産の純資産総額に 年率1.903%（税抜1.73%） を乗じて得た額とします。運用管理費用（信託報酬）は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、以下の支払時期に投資信託財産中から支払われます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 毎月決算型：毎計算期末または信託終了時。 ■ 年1回決算型：毎計算期間の最初の6カ月終了日および毎計算期末または信託終了時。
その他の費用・手数料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組入価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用などは、実費を投資信託財産中から支払うものとします。これらの費用は運用状況などによって変動するため、事前に具体的な料率、金額、計算方法および支払時期を記載できません。 ・ 監査費用、目論見書・運用報告書の印刷費用などは、投資信託財産の純資産総額に対して年率0.11%（税抜0.10%）を上限として、信託財産中から以下の支払時期に支払うものとします。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 毎月決算型：毎計算期末または信託終了時。 ■ 年1回決算型：毎計算期間の最初の6カ月終了日および毎計算期末または信託終了時。

※上記、ファンドの費用の合計額については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

設定・運用は

商号等：インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第306号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

<ファンドに関する照会先>

ファンドの基準価額、販売会社等の情報についてはインベスコ・アセット・マネジメント株式会社にお問い合わせください。
 お問い合わせダイヤル 03-6447-3100
 【受付時間は営業日の午前9時から午後5時までです】
 ホームページ <https://www.invesco.com/jp/ja/>

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

<為替ヘッジあり> (毎月決算型) / <為替ヘッジなし> (毎月決算型)

<為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)

販売会社（投資信託説明書（目論見書）のご請求・お申し込み先）

- 受益権の募集・販売の取り扱い、投資信託説明書（目論見書）の交付、運用報告書の交付代行、分配金・換金代金・償還金の支払いおよび分配金の再投資※に関する事務などを行います。 ※ 分配金を受け取るコースのみを取り扱う販売会社は当該業務を行いません。
- 下記には募集・販売の取り扱いを行っていない販売会社が含まれていることがあります。また、下記以外の販売会社が募集・販売の取り扱いを行っている場合があります。

2023年6月26日現在

金融商品取引業者等の名称	登録番号	日本証券協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業協会	毎月決算型 取り扱い 販売会社	年1回決算型 取り扱い 販売会社
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3283号	○	○		○	○
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○	○	○	○	○
阿波証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第1号	○			○	
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○	○	○	○	○
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○	○
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○	○
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社 SBI証券、マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	○	○
岡三にいがた証券株式会社※2	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第169号	○			○	
香川証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第3号	○			○	○
極東証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第65号	○		○	○	○
株式会社三十三銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第16号	○			○	○
株式会社十六銀行※2	登録金融機関	東海財務局長(登金)第7号	○		○	○	
株式会社常陽銀行 (委託金融商品取引業者 めぶき証券 株式会社) ※3	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	○		○	○	○
スルガ銀行株式会社※2	登録金融機関	東海財務局長(登金)第8号	○			○	
損保ジャパンD C証券株式会社 (確定拠出年金のみの取り扱い)	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第106号	○			○	
大熊本証券株式会社	金融商品取引業者	九州財務局長(金商)第1号	○			○	○
中銀証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第6号	○			○	○
株式会社中国銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第2号	○		○	○	○
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○	
東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第121号	○		○	○	○
株式会社鳥取銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第3号	○			○	○
株式会社富山銀行※2	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第1号	○			○	
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○		○	○	
西日本シティ銀行証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○				○
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号			○	○	○
日本生命保険相互会社 (確定拠出年金のみの取り扱い)	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第36号	○			○	
ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第20号	○			○	○
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○	○		○	○
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○	○	○
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○	○	○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○	○
株式会社みずほ銀行※1	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	○		○	○	
三津井証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長(金商)第14号	○			○	○
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第54号	○		○	○	○
株式会社三菱UFJ銀行※2 (確定拠出年金のみの取り扱い)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○	
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○	○		○	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券 株式会社※1	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○	○
めぶき証券株式会社※3	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1771号	○			○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○	○
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第8号	○			○	○

※1 新規の募集・販売の取り扱いを停止しています。 ※2 インベスコ 世界厳選株式オープン <為替ヘッジなし> (毎月決算型) のみ取り扱いを行います。

※3 インベスコ 世界厳選株式オープン <為替ヘッジなし> (毎月決算型) およびインベスコ 世界厳選株式オープン <為替ヘッジなし> (年1回決算型) のみ取り扱いを行います。

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

<為替ヘッジあり> (毎月決算型) / <為替ヘッジなし> (毎月決算型)

<為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)

【当資料のお取り扱いにおけるご注意】

当資料はインベスコ・アセット・マネジメント株式会社が作成した販売用資料です。当資料は信頼できる情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完結性を表明するものではありません。また、過去の運用実績は、将来の運用成果を保証するものではありません。当資料で詳述した分析は、一定の仮定に基づくものであり、その結果の確実性を表明するものではありません。分析の際の仮定は変更されることもあり、それに伴い当初の分析の結果と差異が生じる場合があります。当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見などは特に記載がない限り当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。ファンドの購入のお申し込みの場合には、投資信託説明書（交付目論見書）を販売会社よりあらかじめまたは同時にお渡しますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関は投資者保護基金には加入していません。ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。ファンドは、実質的に国内外の値動きのある有価証券など（外貨建資産には、為替変動リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。これらの運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。